



フィグ・ヤーパン通信

第17号

FIGU-JAPAN BERICHT, Nr.17

発行日 2004年1月1日

発行 フィグ・ヤーパン <http://jp.figu.org/>

新年明けましておめでとうございます

フィグ・ヤーパンの活動の中心となる翻訳出版活動は、昨年度大きく飛躍しました。年間で、速報版フィグ特別公報を7巻、小冊子を7冊翻訳出版することができました。また、書籍では、『わずかな知識、知覚そして知恵』、『プレアデス/プレヤールとのコンタクト』、『瞑想入門』の3つの大作の翻訳や校正を開始しております。なおこの内、『わずかな知識、知覚そして知恵』については、大変お待たせしましたが、次号で出版のご案内をさせていただきますので、どうぞご期待ください。

いっぽう昨年、書籍の翻訳の他に、第7回全国読者集会に加えて、FIGU基幹会員のシュテファン・リッカウアー、シモーネ・リッカウアー夫妻による講演会を開催することができました。それぞれ、多数の読者の皆様にご参加いただき、たいへん有意義な集いとなりました。夫妻は参加された日本の読者の皆様の熱心な態度や質問に感激し、日本についてたいへん良い印象をもってスイスへと帰国しました。こうした甲斐もあってその後、ビリーからの提案によって、夫妻が日本の窓口を担当することになりました。今日では、リッカウアー夫妻に日本でのミッションに関する様々な相談を引き受けていただいております。

さて、フィグ・ヤーパンの会計年度は、FIGUスイスと同様に、10月1日から9月30日となっています。毎年この季節には、昨年度までにやりかけたことや、これから行うミッションへの思いを胸に、

メンバーそれぞれが気持ちを新たにして新年を迎えます。フィグ・ヤーパンの運営資金のうち、製本費用を除く翻訳費が占める予算はおよそ6割に及びます。平成3年のフィグ・ヤーパン創設以来、メンバーは継続して毎月の積み立てを続け、活動の資金をやりくりしてきました。しかし、昨年多くの書籍を出版あるいは翻訳を開始でき、またこれに加えて講演会を開催できたことは、読者の皆様からの暖かいご支援があって初めて実現できたことです。メンバー一同、ご協力に心から感謝いたします。

従来に比較して昨年多くの翻訳出版を実現できたとは言え、このことで私達は決して満足しているわけではありません。フィグ・ヤーパンの事務所には、FIGUスイスで出版された新刊書が不定期に送られてきますが、近年その勢いはますます増えています。このため日本での翻訳出版は、予算的にも、作業量においても、FIGUスイスの出版の速度にまだまだ追いつけずにいる状況です。

今年もフィグ・ヤーパンは、読者の皆様と共に、日本でのミッションを着実に進めて参ります。次世代の水瓶座時代へ、私達の大切な地球を引き継ぐためにも、FIGUの使命に気が付いた私達一人一人の力と協力が是非とも必要です。本年も昨年同様ご支援いただけますよう、どうぞよろしく願いいたします。

平成16年元旦
フィグ・ヤーパン一同

新刊 エノクの預言



ドイツ語原文対訳
A5判
30ページ

本書には、1987年の2月に行われた第215回会見において、クウェッツァルがビリーに明かしたエノクの預言が掲載されています。ビリーの求めによって、クウェッツァルは古代エノクの預言を現代の言葉に置き換えて明確に解説しています。

A5判ドイツ語原文対訳でご覧いただける小冊子として発行しています。なお本書は1月下旬以降の配本となります。

ビリー：先の第二次世界大戦以来、地球人の思考、感情および行動は非常に多くが肯定的で善いものになった。が、私の見るところ、それだけでは十分ではない。なぜならばより善いものへの大転換は、この世界の権力者たちによっても、地球人全体によってもなされなかったからだ。過去数年間に君たちは地球の経済、軍事および政治情勢について多くの予告や確率計算をし、預言的な事実も述べた。そして私はそれらを広めるよう求められ、実行した。政府や新聞、ラジオ局だけでなく、テレビ局や世界中の多くの民間人にも情報を提供した。しかしそうしたすべてのことは何もたらさなかった。なぜならば、彼らはこれまで旧態依然としたやり方で漫然と過ごし、預言や予告や確率計算に強い関心を示さなかったからである。それにもかかわらず、私はエノクの未来に関するメッセージを広く知らせねばならないと思っている。
.....

新刊 FIGU／フィグについて

UFOカルトか信頼できる精神科学か



VHS/DVD
日本語通訳付
178分

FIGU基幹会員のシュテファン・リッカウアー、シモーネ・リッカウアー夫妻を招いて2003年9月21日に東京で行われた講演会を収録したビデオです。FIGUの使命が、様々な角度からわかりやすく丁寧に解説されている入門編です。

VHSとDVDの2種類を用意しました。ご注文の際には、ご希望の種別をお忘れなくお知らせください。

主な内容

- ・ FIGUとは、その存在意義
- ・ FIGUの目的と使命
センターの設立意義／ビリー・マイヤー
- ・ UFO研究
プレーレン／コンタクト記録／UFO写真
金属サンプル
- ・ 証拠と証人
基幹メンバーによる証言
- ・ 創造
創造がもたらす本当の人生
- ・ FIGUセンター
メンバーの活動／出版活動／支援活動
- ・ 新型肺炎SARSについて
- ・ 生と死、転生の目的と働き
- ・ 霊の教えの実践と理論
- ・ 瞑想とは

Q&A

質問と回答

□読者の質問

「創造」とは何でしょうか。

□ビリーの回答

創造とは、計り知れぬほどの高さに漂う、計り知れぬ神秘である。

創造は普遍意識と同義である。普遍的意識は意識の存在を導き支配するものであり、卵型をなす二重螺旋は同時に膨張し続ける宇宙を形成している。二重螺旋の腕は、霊的エネルギーとして脈動しつつ生き、相対的に回転している。

創造の内的および外的主体は宇宙である。

創造全体の中では普遍的心情と普遍的意識、そしてそもそも存在そのものである生命力が脈打っている。

創造はすべてに満ち、すべては創造に満ちている。つまり創造の内ではすべてとの融和が行われる。この融和の中ではあらゆる生命が生まれ、それぞれに認められた進化が行われる。

すべての生命体と同じように、創造にも生成と進化の過程がある。しかしその時間値は非常に膨大な値に基づいている。

創造自体は意識的、創造的狀態で7つの劫にわたって生きる。その後、同じ期間にわたって眠りにつくが、創造はそこで7層倍に膨張する。そして7つの劫を経た後、7層倍になって目覚め創造する。(1つの劫は311,040,000,000,000地球年、7つの劫は2,177,280,000,000,000地球年であり、これを永遠とも呼ぶ。7つの大いなる時の7倍は永劫である。)

創造は創造であり、その宇宙では創造と並ぶ他の創造は存在しない。

創造は存在するすべての被造物である宇宙、銀河系、天体と地球、空、光と闇、時間と空間やありとあらゆる種類の生命体のすべての大群を創造する。

創造は、正義、愛、力、英知、知識、慈悲、自由、恩恵、法則、掟、絆、実現、進化、生命、援助、喜び、美、平和、不謬、調和、精神、永劫、一貫、生成、完全、満足、無尽蔵、全能、温和、無限、結束、感覚、聞き入れ、向上、ゾハール(光輝)、柔和、明晰、純粹、変化、生起、未来、威力、畏怖、総体、そして存在である。

創造は生命の存在であり、また非存在でもある。それは宇宙における最も巨大な霊的エネルギーの塊である。

創造は最も純粹な形態の霊であり、その真の英知と知識と愛と調和は計り知れない。

創造は霊的活動的な存在であり、人間にとっては想像を絶するものである。創造は支配しているあらゆる純粹な霊的知的エネルギーより優位にあつて、常に活動的かつ創造的で、止まることなく発達するすべてを包括する英知である。

創造は真実、すべてを包括するもの、慰め、完全、教訓、平等、公正、認識、経験、戒め、陶冶、想起、啓示、称揚、完成、解明、教示である。

創造は生命の道であり、自然である。それは光と火であり考察である。創造は意識であり、あまねく存在する。

創造に栄光あれ

『水瓶座時代の声』89号(1993年12月)抜粋

出展：FIGUスイスホームページ

ビリー・マイヤーへのインタビュー

— ミッションに関すること —

アメリカ人のカル・コーフやMUFONの幹部、その他によって始められたあなたへの非難攻撃に対してどのように自己防衛しますか。

私は自分のコンタクトが真実であることを知っているのです、もし私が防衛するとしたらそれで十分です。私がプレアデス/プレヤール人と会見しているのは実際の真実ですから、自己防衛の必要もなければ、何らかの形で正当化する必要もありません。MUFON信徒や誹謗者カル・コーフなどの半狂人や正真正銘の気遣いは、かつて私と一度も言葉を交わしたこともなければ、個人的に書簡のやり取りをしたこともありません。そのうえ彼らは頭のおかしい哀れなねたみ屋で、とにかく目立つことが好きな知ったかぶり屋にすぎないので、怒る気にならないのです。それどころかその正反対です。その嘘や誹謗中傷にもかかわらず彼らに感謝していると言ってもいいのです。なぜなら、彼らのネガティブな行動のおかげで多くの人がセンターに問い合わせをして、事の真相について尋ねるからです。その結果、これらの人々は私が地球外知的生命とコンタクトしているのは本当であることを擁護し始めるのです。しかもこうした人々はたいてい、私に集中砲火を浴びせ、私のことを詐欺師呼ばわりしたり欺いたりするすべての人間に関する情報を求めます。そこで私は私に対して悪意を抱いている連中の策謀を書き記し、事実関係を明らかにしたビラを作成して興味のある人に配ったのです。しかし私はこれを正当化や自己防衛としてではなく、意図的に重要な情報として提供したにすぎません。

しかし地球には地球外知的生命と会見したと偽る詐欺師が大勢いますが、これにはいわゆる霊媒やチャネラーも含まれます。このいまわしい件についてあなたもしくはプレアデス/プレヤール人の意見を聞かせてくれませんか。

プレアデス/プレヤール人との自称コンタクトに

ついては、すべて詐欺、嘘、ペテンです。というのは地球上には、彼らと肉体的にも、テレパシーや感覚によってもコンタクトを取ることができる人間は私以外に一人もいないからです。これと違うことを主張する者は、嘘つきであり、ペテン師であり、詐欺師にほかなりません。それは、私がプレアデス/プレヤール人と会見した全期間を通して彼らが繰り返しきっぱりと断言した事実です。たしかに以前はプレアデス/プレヤール人と意識的なパルスコンタクトを取っていた人物が5人いましたが、すでにみな死んでいます。

他の地球外知的生命と地球人との個人的なコンタクトも存在しません。これとは異なる主張も嘘、ペテン、詐欺です。地球外知的生命または霊的存在や光体存在などとコンタクトを取っている、と主張する紳士淑女が何と自称しようと、あるいはどんな肩書をひけらかそうともです。霊媒やチャネラーも、たいていは完全に意図的な嘘つき、ペテン師、詐欺師か、妄想病患者、精神分裂病患者または精神病質者にほかなりません。これに対しある種の検査接触は一概に否定すべきではありません。これは何らかの地球外知的生命が地球人を調べたり、研究したり、つまり検査する目的で誘拐するものです。しかし、これは地球外知的生命が地球人の女性を妊娠させたり、彼らとセックスするなどという戯言とは無縁です。このような戯言はとりわけアメリカでヒステリックに広められ、ときには地球外知的生命が家畜を大量に殺す、などという馬鹿げたことまで言い触らされているのです。

地球外飛行物体、さらにはその着陸は、しばしば目撃されて、写真やビデオにも撮影されていますが、こうした形態のものはコンタクトと呼べないということは明確にしておく必要があります。本当の形態のコンタクトは、地球外知的生命と地球上の人間との間で、口頭またはテレパシーによるコミュニケーションが行われることを言います。しかし地球上でそれができるのは、現在まで私以外にはいません。プレアデス星の生物とテレパシーでコンタクトしていると称するあらゆる嘘つきや詐欺師やペテン師たちが、仮にテレパシーで相手にメッセージを送ることができたとしても、彼らはその返事を受け取るのに1000年間待たなければならない、ということ

考えさえすればいいのです。正確に言えば、地球から見てプレアデス星までの距離はちょうど約 420 光年ですから、往復で 840 光年かかります。周知のようにテレパシーによる想念は、光と同じ速度で進むわけですから、それらが地球から我々に見えるプレアデス星に届くまで約 420 光年必要です。そして絶対に誰も住めない、事実、物理的存在も、霊的存在または光体存在も住んでいないプレアデス星に、返事を送ることのできる何らかの種類の生命形態が存在したとして、その返事が地球に届くまでに再び約 420 年間必要です。しかし地球上の誰が 840 年間も生きるでしょうか。だから、非常に遠い天体やそれらの惑星の存在物とテレパシーでコンタクトしているなどと言いつつ触らしているすべての自称会見者、霊媒およびチャネラーなどは、嘘、詐欺、ペテンを弄していると自ら非難しているようなものなのです。実際、彼らにはそうしたコンタクトを取る能力は誰にもありません。どのようにしてこの途方もない距離をテレパシーによる想念で交信できるかについて、彼らは何も分かっていないからです。私はここでその可能性の秘密を明すつもりはありません。さもないと、突如としてその能力を持っているなどという嘘と詐欺とペテンの作りごとを主張するだろうからです。

あなたは どうして ビリー と名乗るようになったのですか。

それは 1964 年、ペルシャ、つまり今日のイランのテヘランで名付けられました。そこで私はアメリカのロサンゼルスから来た若い女性と知り合いました。彼女の名はジュディー・リードでした。当時私は西部の男のような服装をしていました。それはとても便利だったからです。そのため彼女は、ジェームズ・バトラー・ヒコック、通称ワイルド・ビル・ヒコックに似ていると言って、私をビリーと呼びました。それ以来、私はどこへ行っても、ビリーの名前で呼ばれました。それが今日に至るまで続いているというわけです。

あなたが最初に瞑想をしたのはいつ、どこですか。

1940 年代半ば、私の故郷の村ビューラッハの付近です。スファートのビームシップの中で、彼の指導で行いました。

あなたは新しい人々と知り合うことにかけて非常に慎重ですね。あなたは世界に重要なミッションを伝える立場にあるのに、どうしてそのように^{いんとん}隠遁した生活を送っているのですか。

私を殺害する企てはすでに 13 回もなされ、私が暗殺を恐れて引きこもっていると触らされていますが、もちろんそうではありません。私が隠遁している理由は幾つかあります。まず第一に、私は導師や教祖ではありません。だから公に登場して信奉者を集めたり、自分を聖人のように見せかけたりする必要がないのです。それに私は決して聖人などではありませんし。第二に、私は熱狂的に賛美されたいとは思いません。というのも、私は何か特別の存在でもなければ、驚嘆され称賛されることに喜びを感じる人間でもないからです。私は動物園の見世物ではありませんから。

またジャーナリストからインタビューを受けることも重要とは思っていません。彼らはたいいていセッションをねらっているからです。彼らは真実を際限なく歪めたりねじ曲げたりして、真実とはほど遠い通俗的な三文記事を書きなぐります。あるいは彼らには、嘘や曲解によってすべてを汚してしまう傾向があります。

真実の教えを広めるのに必要なのは、導師でもなければ教祖でもありません。聖人や、世間に派手に登場する人間も必要としません。目立ちたがりや誇大妄想 それに虚栄心などもふさわしくありません。ふさわしいのは謙虚さと、教えを広めるスタイルです。つまり、信奉者や信者を集めることを目指すのではなく、本当に真実のみを求め、自らの主体性と意志によって学ぼうとする意欲のある人間だけが語りかけられていると感じることが必要であり、導師や教祖が彼らを支配するようなことがあっては

ならないのです。そしてこのことは、これらの人間の一人ひとりがあらゆる点において自らに対し、その行為と行動に対し、そして人生そのものに対して十分に、しかも完全に自覚的に責任を負うことを要求します。この場合、背後に宗教や教派の信仰が潜んでいてはなりません。それは信じることを要求するだけで、考え、発見し、そして自ら決断することを求めることにはないのです。

ミッションを広め、果たすことの重要性は、各人が自由であり、この自由においてすべてのことについて自分自身で決定し、またそのようなものとして行動することを求めます。自ら世間に登場し、命令を与えたり要求したりする導師や師や教祖などが上に立つことはありません。人間はあらゆる点で自由でなければならず、またそのようなものとして人生のすべての事柄に対していかなる場合も自分自身で責任を負わなければなりません。そこに想像上の神や、あるいは単なる導師や僧侶や教派信者が入り込んではいけません。そのようにしてのみ人間は自立し、自分の人生を独力で乗り切ることができ、自らの責任を担うことができるのです。しかしもし私が世間に公然と登場したならば、この責任を人間から奪うことになるでしょう。というのも人間は、誰かが何らかの意味を持っていて、どのようなやり方であるかを問わず公に登場すると、すぐさまその者を持ち上げるといふ独特の性向を持っているからです。

ミッションは過去20年でどのように発展しましたか。

驚くほど順調です。最初こそ多くの困難があり、財政的にも大変でしたが、その後すべてが非常に良く発展しました。その結果、私たちの活動範囲はほとんど全世界に広がり、すべての大陸にグループと会員を持つに至りました。さらには、原住民ともコンタクトを取っています。

私たちのこの成功に大いに寄与したのは、ここスイスとドイツとアメリカにいる敵対者たちです。彼らは私を嘘つき、詐欺師、ペテン師と罵倒しようとし、ときには国境を越えた大規模なキャンペーンを

企てたのです。しかし彼らはそのネガティブな行為によって常に彼らが意図したのとは正反対の結果を招いたのです。というのは、彼らの殴り書きと嘘と誹謗中傷のおかげで、ますます多くの人が私たちのことに関心を持ち、その結果として私たちは多くの会員や友人を獲得したからです。古い格言にあるとおり、「真実は必ず勝つ」のです。この場合も、まさにそうでした。すなわち真実がすべてを照らし、誹謗者は滅びるのです。

あなたが20年前にFIGU、すなわち境界科学・精神科学・UFO研究の自主共同体を設立しました。この団体はどのような目標と使命を持っているのですか。

FIGUの目標は、創造と自然の法則および掟の真理と、人間が送るべきそれに相応しい生き方を世界中に広めること、それによって愛と調和と人間性、ならびに目的に適った進化が生まれ、また生きられるようにすることです。

創造および自然の真理の教えと結びついた使命は、さまざまな形で展開されます。たとえば人口過剰に対する闘い、拷問と死刑に反対する闘い、女性差別との闘い、児童虐待に対する闘い、動物保護、自然保護、それに困窮者への支援などです。私たちはまた食料品、衣類、医薬品、日用雑貨、工具類などによる支援も行います。

人生相談の機能も使命の範囲に含まれますが、これはもちろん無料です。というのは私たちは非営利団体であり、正確に言えば営利を追求しない社団です。私たちの使命には、創造と自然の法則および掟に関する真理を広めることのほかに、霊に関する教え、略して霊の教えを広めることも含まれます。これは境界科学および精神科学のほかに、人生、進化、知識、学習、心、霊、さまざまな無意識体および無意識、そして意識など数多くのテーマを扱います。印刷物や書籍を作製することもFIGUの使命です。書籍は原価で、また多数の小冊子は無料で配布されますから、それによって利益を得ることはありませんし、実際に利益をもたらすこともありません。

このように私たちの使命は非常に多様であり、時

間も非常にかかります。作業はすべての会員が絶対的に自由な意志により、日々の賃金仕事の後でまだ残されている自由時間に無償で行われます。

続く

(出典：FIGUスイス ホームページ)

フィグ・ヤーパンからのお知らせ

□これから出版する本□

現在、『わずかな知識、知覚そして知恵』、『プレアデス／プレヤールとのコンタクト』、『瞑想入門』の大作を三冊同時に並行して翻訳校正中です。この内、『わずかな知識、知覚そして知恵』について、最終校正の段階にあります。次号フィグ・ヤーパン通信 18号にて、出版のご案内をさせていただきますので、どうぞご期待ください。

いっぽう、『プレアデス／プレヤールとのコンタクト』についても校正が進んでおり、現在出版の形態を検討中です。できるだけ多くの方に読んでいただけるように、一般書店での販売を目指しています。このためには、出版社との契約や自費出版等の様々な手段が考えられます。出版社と契約をするためには、原稿を受け入れてくれる編集者との出会いがなければなりません。また、自費出版をして一般書店に流通させるためには、多額の費用を必要とします。それぞれ、継続性や費用面で一長一短あります。読者の皆様で有力な情報をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非フィグ・ヤーパンまでご一報いただければ幸いです。

□講演会ビデオを販売します□

2003年9月21日に、およそ3時間にわたってFIGUスイス基幹会員のシュテファン・リッカウアー、シモーネ・リッカウアー夫妻によって行われた講演会のビデオを販売いたします。同時通訳は、『宇宙の深遠よりープレアデスとのコンタクト』の翻訳者としておなじみの、シュトラッサー・節子さんです。講演会に諸事情でお越しになれなかった方、お待たせしました。また、講演会にいらした方も、記

念のため、あるいは学習のためにお手元に置かれてはいかがでしょうか。このビデオはボランティアスタッフの近内さんのご協力によって作成されました。

ビデオはVHSとDVDの2種類用意しましたので、ご注文の際に種別をご指定ください。定価はどちらも、3000円(税込み)です。なお、ビデオは巻末に掲載の書籍用の送料が適用されませんので、ご注意ください。ビデオ1巻の重量はVHSとDVDどちらも250グラムです。このため、ビデオを1巻お求めの場合、VHSとDVDそれぞれの送料は390円となります。また、ビデオと書籍を一緒にお求めの場合、以下の定形外郵便物の送料が適用されます。

ビデオ郵便料金 (定形外郵便)

500グラムまで 390円

1000グラムまで 580円

□公共図書館への書籍案内および寄贈活動□

フィグ・ヤーパンでは、FIGU関連書籍の普及を目的に、全国の公共図書館を対象として、『宇宙の深遠よりープレアデスとのコンタクト (徳間書店刊)』を案内する活動を継続して行っています。公共図書館では、一般に購入を希望する書籍の申し込みを受け付けています。お近くの図書館に行かれた折に、『宇宙の深遠よりープレアデスとのコンタクト』の書籍購入申し込みをして、図書館名をフィグ・ヤーパンまでご一報いただければ幸いです。読者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

□フィグ・ヤーパン通信□

フィグ・ヤーパン通信は年間4回発行され、読者の皆様を対象として無料で配布しております。掲載記事へのご要望がありましたら、お聞かせいただければ幸いです。なお、本紙の配布または配布停止を希望される方、住所変更のある方は、お手数ですが、フィグ・ヤーパンまでご一報いただきますようお願いいたします。

出版物のご案内

■宇宙の深遠より 一地球外知的生命プレアデスとのコンタクト (徳間書店刊)

価格 2,940 円 (税込 送料別 550 グラム)
全国の書店でもお求めいただけます。

■フィグ・ヤーパン通信

価格 各 300 円 (税込)

1号 (送料別 45 グラム) 2号 (送料別 225 グラム)
3号 (送料別 55 グラム) 4号 (送料別 70 グラム)
5号 (送料別 65 グラム) 6号 (送料別 40 グラム)
7号 (送料別 60 グラム) 8号 (送料別 70 グラム)
9号 (送料別 55 グラム) 10号 (送料別 85 グラム)
フィグ・ヤーパン通信は 11 号以降無料となりました。

■日本語版 水瓶座時代の声

価格 各 1,000 円 (税込)

83/1 号 (特集) (送料別 140 グラム)
83/2 号 (特集) (送料別 105 グラム)
87/1 号 (特集) (送料別 140 グラム)
91/1 号 (特集) (送料別 135 グラム)

■第 235 回会見

価格 500 円 (税込 送料別 70 グラム)

■日本語版 FIGU 公報

6号 価格 500 円 (税込 送料別 90 グラム)
7号 価格 500 円 (税込 送料別 95 グラム)
29号 価格 500 円 (税込 送料別 155 グラム)
30号 価格 500 円 (税込 送料別 155 グラム)
38号 価格 500 円 (税込 送料別 160 グラム)

■精神と物質の生命

価格 500 円 (税込 送料別 55 グラム)

■エノクの預言 新刊!!

価格 300 円 (税込 送料別 55 グラム)

■『瞑想入門』の手引き

価格 300 円 (税込 送料別 70 グラム)

■男と女に対する言葉

価格 200 円 (税込 送料別 35 グラム)

■男と女の違い 男と女の結びつき

価格 100 円 (税込 送料別 25 グラム)

■パートナーシップ

価格 200 円 (税込 送料別 35 グラム)

■昨日、今日、明日の心配に関する考察

価格 100 円 (税込 送料別 15 グラム)

■生と死は互いに切り離しがたく結びついている

価格 100 円 (税込 送料別 25 グラム)

■あえて賢くあれ

価格 100 円 (税込 送料別 25 グラム)

■FIGUの原則あるいは人間の原則

価格 300 円 (税込 送料別 40 グラム)

■プレイヤー人が地球人に望むこと

価格 200 円 (税込 送料別 30 グラム)

□ 書籍のご注文について □

すべての書籍のご注文は、郵便振替にて承っております。ご希望の書籍代金に送料を加えた金額を、お近くの郵便局から下記フィグ・ヤーパンの口座宛にお振込みください。なお、現金書留および切手同封による直接のお申し込みはご遠慮ください。

□ 郵便料金表 □

150 グラムまで 180 円 1000 グラムまで 340 円
250 グラムまで 210 円 2000 グラムまで 450 円
500 グラムまで 290 円 3000 グラムまで 590 円

□ 振込用紙の記入欄 □

口座番号：00160-4-655758

加入者名：FIGU-JAPAN

(アルファベットで記入して下さい)

金額：送料を含めた合計金額

払込人：あなたの住所、氏名、電話番号

通信欄：購入する書籍名と冊数

フィグ・ヤーパン通信 第 17 号 (無料)

発行日 2004 年 1 月 1 日

発行 フィグ・ヤーパン (FIGU-JAPAN)

住所 〒192-0916

東京都八王子市みなみ野 3-11-2-305

電話 0426 (35) 3741

FAX 0426 (37) 1524

URL <http://jp.figu.org/>

E-mail jp@figu.org

郵便振替 00160-4-655758

加入者名 FIGU-JAPAN

本書の全部または一部を無断で複製すること
は、著作権法上の例外を除き禁じられています。本
書からの複製を希望される場合は、フィグ・ヤーパ
ンにご連絡ください。

Copyright (c) 2004 by FIGU-JAPAN. All rights reserved.